

4月17日に、本校138名を対象に実施された「全国学力調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語・数学・理科の3教科のテストと同時に家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子供たちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・数学・理科）

どの教科も、全て全国平均を上回っています。また、無解答率が低く、生徒が問題に向き合い最後まで諦めないで取り組もうとする姿勢が育まれています。

国語科

全ての領域よくできています。中でも、あらすじを書いたり質問を考えて書いたりする記述式の問題がよくできており、全国平均を6%上回りました。記述式の問題の無答率が全国平均より10%低いものもあり、文章を書くことに抵抗が少ないことがわかります。しかし、登場人物の言動の意味を考えたり、文章の展開から内容を捉えたりする「読む力」、語句や慣用句を文脈の中での的確に用いる「言葉の力」に弱さが見られます。引き続き週末課題で語彙力を磨き、積極的に読書に取り組んでください。



数学科

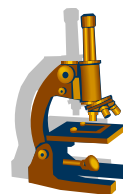
A問題もB問題もよくできています。基本的な問題を繰り返し学習していくことと同時に、与えられた情報を整理することや、問題解決の方法を数学的に説明することができるようにするために、用語の意味を理解して問題に取り組む必要があります。ただ公式や用語を暗記するだけでは、問題を解くときに役に立ちません。「なぜこの方法で解くのか」「この用語の意味は何か」を理解しながら学習を進めましょう。また、無回答の生徒は少なく、諦めずに解くという姿勢をこれからも大切にして頑張ってください。



理科

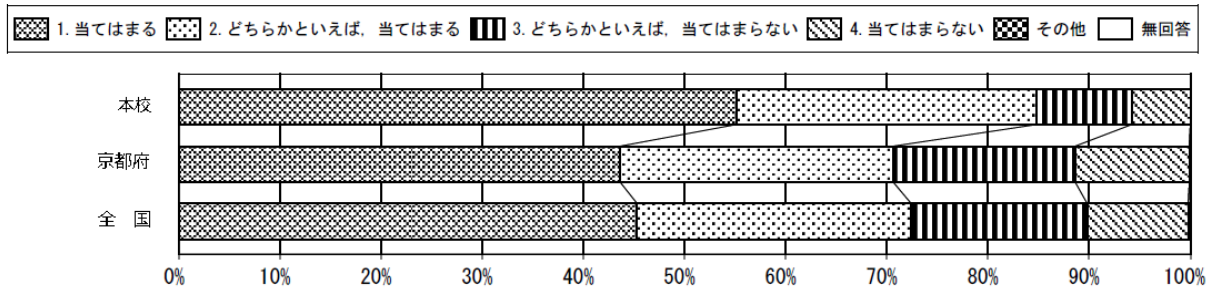
全体的によくできています。特に、「知識」に関する問題、物理、化学、生物の領域が優秀です。日頃から学習に真面目に取り組んできた成果の表れです。

しかし、科学的な思考・表現を評価する「活用」に関する記述式問題では、課題が残ります。学習したことを普段の生活で活用できないか考えたり、自分の考えを説明したり発表したりすることに積極的に取り組んでいきましょう。



生徒質問紙から①

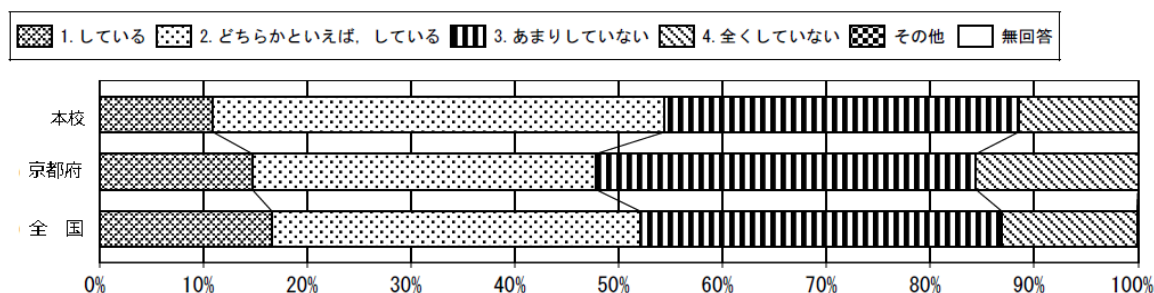
●将来の夢や目標を持っていますか。



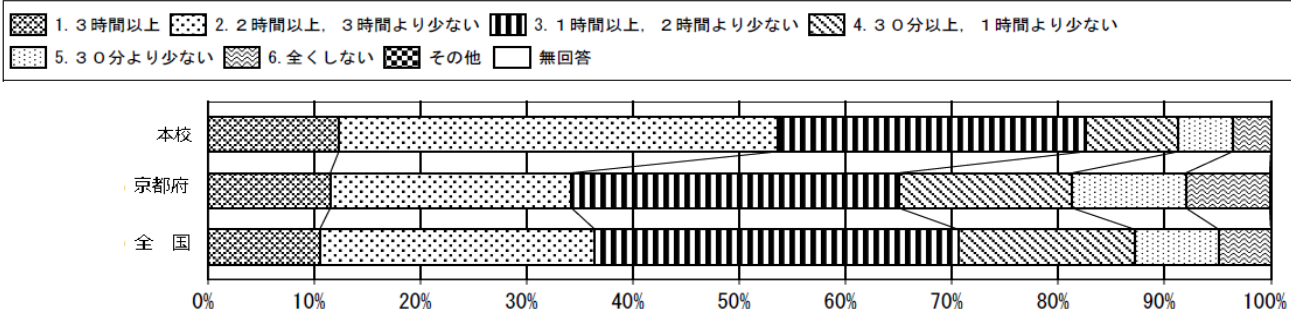
「将来の夢や目標を持っている」ということは、それらを実現させるために主体的に努力することができる生徒が多いということです。これからも、何事にも向上心をもって取り組んでほしいと思います。まだ、夢や目標を決めきれていない生徒もいると思います。いろいろな経験をしてじっくりと考えていきましょう。

生徒質問紙から②

●学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強をしている時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



●家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



1日2時間以上家庭学習をすると答えている生徒が半数以上おり、家庭学習の時間は伸びてきています。しかし、内容をみると、与えられた宿題はできますが、予習・復習をするなど自分で計画的に学習する習慣は十分についていないようです。自主的に学習に取り組む習慣をつけていきましょう。

保護者の皆様へ

全国調査は子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決していくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。

学力は、学校・家庭・地域の地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果を見ると、力は着実についており、ご家庭での子どもに対する積極的な関わりや指導・支援の成果が表れています。引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。

